

Data Scientist

データサイエンティスト養成講座のご紹介
「第四次産業革命スキル習得講座」 (Reスキル講座)

「働く」をデザインする。

- for Ideal Design -



「Works ID」に込められているのは、
企業理念の「『働く』をデザインするアイディアを通じて、人と企業の双方の満足に貢献します」を
象徴する「I design = 働くをデザインする、identity = 自我、Idea = アイディア」です。

「ID」を囲う赤枠のデザインは、「IT × DX = ID」により、
お客様のビジネスを進化させるための
アイディアがたくさん詰まっていることを表現しております。

テクノロジーを活用した新しい価値の創造 = 「DX」と、
「人」の持つ無限の想像力を掛け合わせて人とテクノロジーが協働する未来を共創することで
「人」の「働く」喜びに、「企業」のテクノロジーを活用した「ビジネスの変革」に貢献していきます。

ワークスアイディ株式会社
<https://dx.worksid.co.jp/>

Outline



データサイエンティスト養成講座 サービス一覧



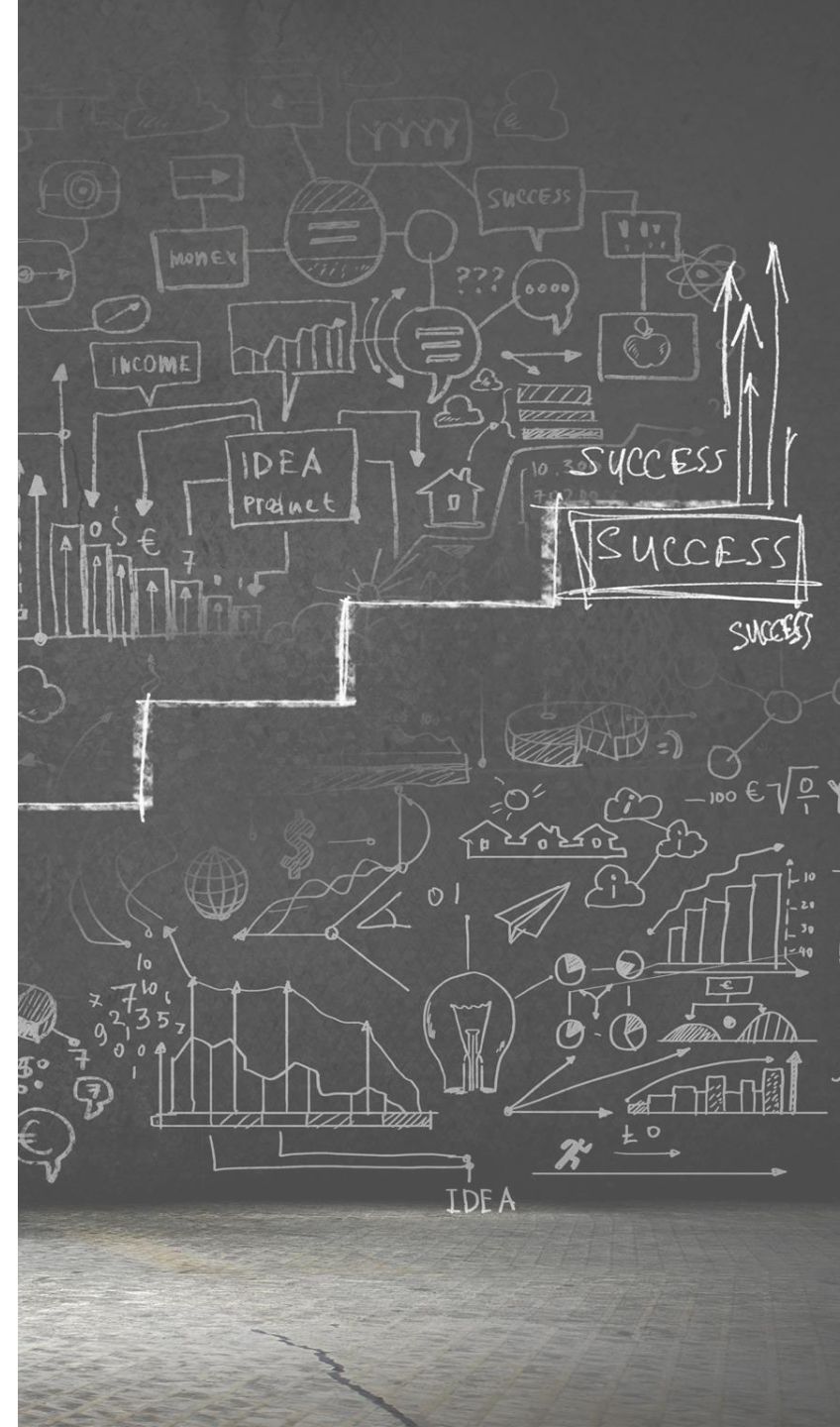
各講座の概要説明



講座の特徴・強み



会社概要





データサイエンティスト養成講座 サービス一覧

～DX化の推進とデータ利活用人材を目指して～



「データサイエンティスト養成講座」が第四次産業革命スキル習得講座（Reスキル講座）に認定

● 「第四次産業革命スキル習得講座」（Reスキル講座）について

「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」とは、IT・データを中心とした将来の成長が強く見込まれ、雇用創出に貢献する分野において、社会人が高度な専門性を身に付けてキャリアアップを図る、専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定する制度のことです。

経済産業省では、民間事業者が社会人向けに提供する IT・データ分野を中心とした高度なレベルの教育訓練講座を「第四次産業革命スキル習得講座」（Reスキル講座）として認定し、社会人のスキルアップを応援しています。

以下、DS養成講座の全体イメージとなります。

タイトル	レベル	概要	学習狙い・ゴール	期間 (営業日)
①DS入門編	初級	DS (データサイエンティスト) ツール・言語：様々 (別途ご紹介) 形式：座学、ハンズオン、演習	<ul style="list-style-type: none"> データサイエンティストの概要理解が出来ている状態。 統計解析・機械学習・AIの概要理解出来ている状態。 モデル実装と定着化、データサイエンスの活用のイメージがついた状態。 	約3日間 (9コマ)
②ビジネスインサイト基礎編	中級～上級	ビジネスインサイト ツール・言語：Excel、PPT 形式：座学、ハンズオン、演習	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス課題の把握の仕方が理解できている状態 課題の把握、整理などロジカルシンキング、デザイン思考が理解できている状態。 レポーティング (報告・提案) の基礎が理解できている状態。 	約2.5日間 (8コマ)
③状況可視化基礎編	中級	状況可視化 (BI) ツール・言語：Power BI 形式：座学、ハンズオン、演習	<ul style="list-style-type: none"> データ可視化の基礎 (データインポート、チャート見方、可視化例など) が理解できている状態。 様々なデータ可視化 (分析) 手法が理解できている状態。 Power BIの必要な機能を理解できている状態。 	約2日間 (6コマ)
④DB基礎編	中級～上級	DB (データベース) ツール・言語：SQL Server 形式：座学、ハンズオン、演習	<ul style="list-style-type: none"> DBの基礎知識、スキーマ、テーブルなどの構築方法を理解している状態。 SQLの基本文法を理解し、DBからデータ取得・加工を行うことができる状態。 	約2日間 (6コマ)
⑤Python基礎編	中級～最上級	DS (様々なデータ加工、可視化、統計解析、機械学習、AI) ツール・言語：Python 形式：座学、ハンズオン、演習	<ul style="list-style-type: none"> 統計解析の基礎が理解できている状態。 機械学習の基礎が理解できている状態。 Pythonの基礎的な文法、numpy、pandasの基礎が理解できている状態。 データ分析用開発環境ツールの基礎的な操作ができる状態。 CNN、RNNの概要、ネットワーク構造を理解できている状態。 	約10日間 (30コマ)
タイトル	レベル	概要	学習狙い・ゴール	期間 (営業日)
⑥受講後評価レポート	全体	受講後理解度チェック、満足度の確認	<ul style="list-style-type: none"> 受講前の実力チェック 受講後の理解度チェック 講座満足アンケート 	実施後 2～3週間

以下、DS養成講座の全体イメージとなります。初級～最上級まで幅広い講座のご提供が可能です。

【1日時間割イメージ】

午前/午後	開始時間	終了時間	時間	内容
午前	10:00	11:30	1:30	講義 1
	11:30	12:00	0:30	休憩/復習
	12:00	13:00	1:00	お昼休憩
午後	13:00	14:30	1:30	講義 2
	14:30	15:00	0:30	休憩/復習
	15:00	16:30	1:30	講義 3
	16:30	17:00	0:30	休憩/復習
1日	10:00	17:00	7:00	

1日3コマ（講義）を想定
講義には、ハンズオン・
演習の時間を含みます

■講座受講日数:20日間

※復習や自己学習の時間が必要となります。(復習・自己学習は助成金対象外)

※実際には、1時間に10分程度小まめに休憩を入れながら進めて行きます

※講義によっては、講義時間が変動する可能性があります

以下、弊社講座（テキスト、講師、運営）の特徴、強みとなります。

実施前・実施中

1. Reスキル（経済産業省）認定講座

- ・総務省の厳しい基準を満たした講座となります。ビジネス（インサイト）、BI（状況可視化）、テキストマイニング、統計解析、機械学習、AI、実務へのDS活用を考えるなど非常に充実したコンテンツとなっています。
- ・様々な演習・ハンズオンをご準備しており、“能動的”に受講いただけるような構成にしております。

2. 現役データサイエンティストが講師を担当

- ・講師は現役のデータサイエンティストにて業種・業態を問わず案件経験を積んでいます。

3. フルオンライン対応

- ・オンラインでの講座実施やナレッジを豊富に蓄えています。

実施後 (サービス)

4. 各種DSご支援サービス

- ・分析チーム立ち上げ支援サービス（メンター、分析基盤構築支援、データ利活用支援）
- ・データ分析支援サービス（コンサルティング、データをお預かりしての分析PoCやプロジェクト対応可）

5. 受講企業向けコミュニティサービス

- ・受講後も定期的に受講生様同士が情報交換できる“座談会”の実施も検討中です



各講座の概要説明

～DX化の推進とデータ利活用人材を目指して～

【概要】

- 社内におけるデータ利活用、データサイエンスの概要、必要な知識、スキル、ツールなど初めての方向けに約2日間で集中的にお伝えしていきます。
- 演習・ハンズオンも豊富にご準備しております。

【学習のゴール】

- ① データサイエンティストの概要理解が出来ている状態
- ② 統計解析・機械学習・AIの概要理解出来ている状態
- ③ モデル実装と定着化、データサイエンスの活用のイメージがついた状態

【前提条件】

- 対象者イメージ
 - ・データを利活用やデータ分析に興味のある方（初心者可）
 - ・データを利活用して顧客や会社に対して新たな提案を目指している方
- 有ると望ましいスキル/経験
 - ・実務経験（1年以上を推奨）
 - ・経企、営業、企画、マーケティングなどの実務経験

タイトル

タイトル

1. データサイエンスの概要

- ・DXにおけるDSの役割と位置づけ
- ・データサイエンスの概要
- ・データサイエンティストに求められるスキル
- ・ビッグデータの概要・利活用など
- ・【演習1】どんなデータサイエンティストを目指すのか

6. 機械学習入門

- ・機械学習の概要
- ・機械学習のプロセスと精度向上
- ・Azure Machine Learningの概要
- ・【ハンズオン】Azure MLで分類問題を体験する

2. ビジネスインサイト入門

- ・データサイエンスを企画で活かす“コツ”
- ・データサイエンスプロジェクトの流れ
- ・データサイエンス案件の具体的な流れ
- ・データサイエンスプロジェクトにおける体制と役割
- ・【演習2】自社のビジネスモデルを構造化する（As is）

7. AI入門

- ・AIの概要
- ・AIの役割と位置づけ
- ・AI汎用言語・サービス
- ・AIの活用事例
- ・【ハンズオン】Azureで画像解析を体験する

3. 状況可視化分析入門

- ・状況可視化の概要
- ・状況可視化の役割と位置づけ
- ・BIツールで出来る事
- ・活用例
- ・【ハンズオン】BIツールを体験する

8. モデル実装と定着化

- ・演習の概要
- ・【演習】Excelを使って家賃を予測する
- ・【演習】家賃予測モデルの実装と自動化

4. テキストマイニング入門

- ・テキストマイニングの概要
- ・主要なテキスト分析ツールのご紹介
- ・【ハンズオン】テキストマイニングツールアプリを体験する（KHCoder）

9. 実務へのDS活用を考える

- ・実務へのDS活用イメージを高める
- ・【演習】自社の今後のビジネスにDSを取り入れる（To be）

5. 統計解析入門

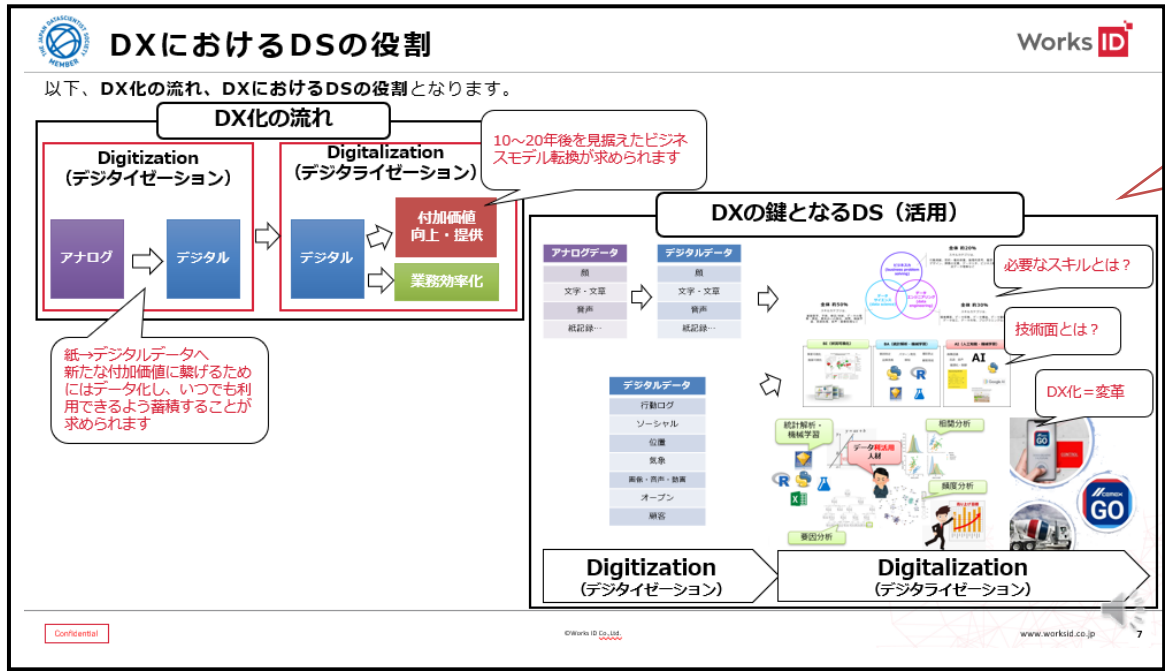
- ・統計学の必要性
- ・統計学の概要と役割
- ・統計解析ツールのご紹介
- ・統計解析の活用事例

10. 実施後アンケート

- 【アンケート】理解度・満足度アンケート

※内容は一部変更となる場合がございます。実施前アンケート（事前メールアンケート想定）しております。ご協力をお願いします。

- 以下、実際の講座テキストのサンプルとなります。



DX (デジタルトランスフォーメーション) とも関連付けたコンテンツとなっています

データサイエンティストに求められるスキルを体系立ててご説明します

【演習1】どんなデータサイエンティストを目指すのか

Works ID

【内容】

- 別紙“データサイエンティスト (=データ利活用人材)”の定義シートを参考にいただき、【要提出】“どんな”データサイエンティスト (=データ利活用人材)”を目指すのか?” “講座開始時点”シートの作成をお願いします。(想定作業時間: 12分)
- 1分/人で発表をお願いします。
※時間次第で実施とします

【学習狙い・ゴール】

- データサイエンティストのスキルの種類について理解できている状態
- ご自身の現状把握と目指すべき方向性のイメージを付ける

Confidential | ©works id Co., Ltd. | www.worksid.co.jp | 23

【概要】

- ビジネスインサイト概要、システム、データサイエンス手法、データサイエンスチーム、メンバー別役割、プロジェクト推進に必要な基礎スキルを身に付けることができます。

【学習のゴール】

- ① ビジネス課題の把握の仕方が理解できている状態。
- ② 課題の把握、整理などロジカルシンキング、デザイン思考が理解できている状態。
- ③ レポート（報告・提案）の基礎が理解できている状態。

【前提条件】

- 対象者イメージ：
 - ・データを利活用して課題発見と解決をしたい方
 - ・データを利活用して顧客や会社に対して新たな提案を目指している方
- 有ると望ましいスキル/経験：
 - ・経企、営業、企画、マーケティングなどの実務経験
 - ・提案書、プレゼンなどの実務経験

【研修の流れ（時間割）】※1コマ 約90～120分想定

回目	タイトル	回目	タイトル
1	ビジネスインサイト概要 <ul style="list-style-type: none"> ・概要と各ステップ理解、ビジネススキルとの違い、【参考】デザイン思考 ・【演習】As is To Beを利用したビジネスモデル、現行業務の把握 	5	データサイエンスの流れ 1 <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスプロジェクトの流れ ・データサイエンスプロジェクト必要アウトプット一覧 ・【参考】ロードマップ
2	システム・IT 基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析・モデリングの流れ ・システム構成の基礎知識（システム構成図、基幹系、情報系、EPM、オンプレミス、クラウドなど） ・テーブル定義書、ER図、【参考】QC工程表、【参考】購買データ ・セキュリティ基礎知識（機密性、完全性、可用性の3要素） 【演習】システム環境の把握 	6	データサイエンスの流れ 2 <ul style="list-style-type: none"> ・【演習 1】As is To Beを利用したビジネスモデル、現行業務の把握と“方向性を考える” ・【演習 2】目標・ゴール設定を体験する
3	モデリング概念・データサイエンス手法 基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・モデリング概念 ・データサイエンス手法 ・【演習】モデリング、データサイエンス手法の把握 	7	データサイエンスの流れ 3 <ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット共有と発表 ⇒データサイエンスの流れ2になります ・【演習 1】模範回答とポイント説明 ・【演習 2】模範回答とポイント説明
4	データサイエンティストの役割と体制 基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスメンバー各自の役割と体制作り ・分析テーマに応じたプロジェクト体制作り方 ・【参考】データサイエンティスト知識カUp 	8	データサイエンスの流れ 4 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトレポートの作り方/アウトプット仕方 ・中間報告のポイント ・最終報告のポイント

※内容は一部変更となる場合がございます。

【概要】

- BIツール概要、操作を通じてデータ状態や“状況可視化”の行い方の基礎を習得することができます。

【学習のゴール】

- ① データ可視化の基礎（データインポート、チャートの見方、可視化例など）が理解できている状態。
- ② 様々なデータ可視化手法が理解できている状態。
- ③ Power BIの必要な機能を理解できている状態。

【前提条件】

- 対象者イメージ：
 - ・データが持つ特徴や状況を理解したい方
 - ・可視化の手法を学びたい方
- 有ると望ましいスキル/経験：
 - ・企画、マーケティングなどの実務経験
 - ・簡単なデータ分析の実務経験

【研修の流れ（時間割）】※1コマ 約90～120分想定

回目	タイトル	回目	タイトル
1	状況可視化概論 【講座】 ・データ分析概要 ・データ分析手法 概要 ・アウトプット作成 概要	4	BI分析軸概論 1 商品・顧客傾向軸を理解する 【ハンズオン】 ・ABC分析 ・デシル分析 ・RFM分析
2	BI可視化概論1 【ハンズオン】 ・Power BIの概要、セットアップ ・人口推移のデータの多角的な軸での可視化 ・製品売上データによる営業確度の特徴可視化	5	BI分析軸概論 2 商品傾向軸を理解する 【ハンズオン】 ・クロスセル分析 ・ポートフォリオ分析
3	BI可視化概論2 【ハンズオン】 ・食品卸業界の商品管理データの分析軸の考え方 ・為替レート時系列可視化による予測	6	BI分析軸概論 3 顧客軸を理解する 【ハンズオン】 ・解約率分析 ・エリア分析

※商品・顧客は一般的なテーマを想定しています。

※内容は一部変更となる場合がございます。

【概要】

- DBに関する基礎知識、構築方法やSQLを用いてDBから分析に必要なデータを取得・加工する技術と知識について学ぶことができます。

【学習のゴール】

- ① DBの基礎知識、スキーマ、テーブルなどの構築方法を理解している状態。
- ② SQLの基本文法を理解し、DBからデータ取得・加工を行うことができる状態。（CRUD、選択、射影、集計）

【前提条件】

- 対象者イメージ：
 - ・DBに関する知識を身に付けたい方
 - ・大量データの取得、加工、処理の基礎を見つけたい方
- 有ると望ましいスキル/経験：
 - ・データ取り扱い（入力、出力、加工）などの実務経験
 - ・Excel、Accessでの集計経験

【研修の流れ（時間割）】 ※1コマ 約90～120分想定

回目	タイトル	回目	タイトル
1	環境構築 【講義】 ・ Azure SQL Serverとは ・ Azure SQL Server express editionのインストール ・ Azure SQL Server Managementのインストール	4	SQL基礎 1 【講義・ハンズオン】 ・ 基本文法 ・ 集約、結合、ソート
2	DB基礎1 【講義・ハンズオン】 ・ ユーザーと権限 ・ テーブル	5	SQL基礎 2 【講義・ハンズオン】 ・ 集合演算子 ・ ビュー、サブクエリ、インデックス
3	DB基礎 2 【講義・ハンズオン】 ・ CRUD ・ トランザクション	6	DB設計 【講義・ハンズオン】 ・ 正規化 ・ SQLインジェクション ・ 演習

※内容は一部変更となる場合がございます。

【概要】

- データサイエンス領域において現在中心となっている汎用言語の“Python”とは何かを総合的に学びます。具体的にはデータ取り扱いや、データ可視化、データ統計解析、機械学習基礎・AI スキルを習得することができます。

【学習のゴール】

- ① 統計解析の基礎が理解できている状態。
- ② 機械学習・AIの基礎が理解できている状態。
- ③ Pythonの基礎的な文法、numpy、pandasの基礎が理解できている状態。
- ④ Jupyter Notebookの基礎的な操作ができている状態。
- ⑤ CNN、RNNの概要、ネットワーク構造を理解できている状態。
- ⑥ Linuxの簡単な操作方法を理解できている状態

【前提条件】

- 対象者イメージ：
 - ・データサイエンススキルを身に付けたい方
 - ・Pythonコーディングを幅広く身に付けたい方
- 有ると望ましいスキル/経験：
 - ・汎用言語スキル
 - ・モデル作成の実務経験

【研修の流れ（時間割）】※1コマ 約90～120分想定

回目	タイトル	回目	タイトル
1	Python基礎 1 【講義・ハンズオン】 ・イントロダクション ・Pythonプログラミング基礎	6	numpyとpandasによるデータの操作 1 【講義・ハンズオン】 ・ファイルの読み込み方法 ・DataFrameの考え方 ・DataFrameの操作
2	Python基礎2 【講義・ハンズオン】 ・Pythonプログラミング基礎	7	numpyとpandasによるデータの操作 2 【講義・ハンズオン】 ・データ加工の考え方説明 ・データマージ方法 ・データ連結方法
3	Numpy入門 【講義・ハンズオン】 ・配列操作 ・配列プロパティ	8	numpyとpandasによるデータの操作 3 【講義・ハンズオン】 ・重複データ処理方法、置換の仕方 ・indexとIndexの変更 ・グループ化 (groupby)
4	WEBスクレイピング基礎 【講義・ハンズオン】 ・Webスクレイピング基礎	9	numpyとpandasによるデータの操作 4 【講義・ハンズオン】 ・時系列データの処理 ・外れ値の考え方、見つけ方
5	DB操作基礎 【講義・ハンズオン】 ・PyODBCとPandas ・SQL Server Expressとの接続、データの取得	10	演習 1. データフレーム操作演習 【演習】

※内容は一部変更となる場合がございます。

【研修の流れ（時間割）】 ※1コマ 約90～120分想定

※内容は一部変更となる場合がございます。

回目	タイトル	回目	タイトル
11	numpyとpandasによるデータの操作 5 【講義・ハンズオン】 ・並び替え、ランダムサンプリング	16	Python統計基礎 1 【講義・ハンズオン】 ・記述統計、要約統計量、ヒストグラム、外れ値、条件付き確率
12	numpyとpandasによるデータの操作 6 【講義・ハンズオン】 ・データの集計、クロス集計	17	Python統計基礎 2 【講義・ハンズオン】 ・確率論（大数の法則、中心極限定理） ・条件付確率（ベイズの定理）
13	numpyとpandasによるデータの操作 7 【講義・ハンズオン】 ・Numpy：配列とベクトルの計算 ・pandasとのデータのやり取り	18	Python統計基礎 3 【講義・ハンズオン】 ・仮説検定、推定、相関
14	matplotlibとseabornによる可視化 1 【講義・ハンズオン】 ・pandasとmatplotlibによるデータの確認と可視化	19	自然言語処理の基礎 1 【講義】 ・自然言語処理の概要、処理の流れ、処理のコツ ・形態素解析の主要エンジン、単語分散表現など
15	matplotlibとseabornによる可視化 2 【講義・ハンズオン】 ・回帰プロット、分布プロット、ペアプロット、ヒートマップ	20	自然言語処理の基礎2 【ハンズオン】 API利用 ・センチメント分析、GiNZAによる構文解析 ・名前付きセンチティの抽出 ・文章の生成

※内容は一部変更となる場合がございます。

【研修の流れ（時間割）】 ※1コマ 約90～120分想定

※内容は一部変更となる場合がございます。

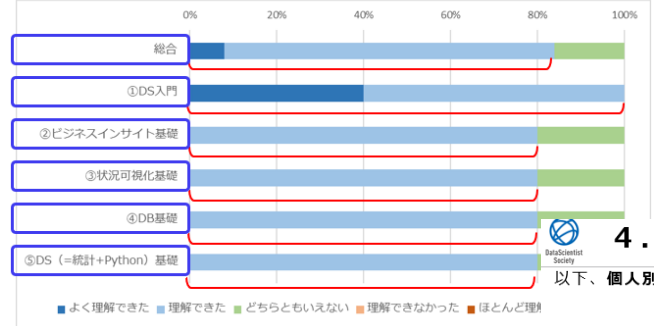
回目	タイトル	回目	タイトル
21	演習 2. 株価分析 【演習】 ・ 株価分析	26	モデルからのデータの解釈 【講義・ハンズオン】 ・ 線形モデルの解釈 ・ オーバーフィッティング
22	Scikit Learnによる学習 1 【講義・ハンズオン】 ・ 分類 ・ 教師あり学習	27	演習 3. モデリング 【演習】 ・ モデリング ・ 精度向上
23	Scikit Learnによる学習 2 【講義・ハンズオン】 ・ クラスタリング ・ 教師なし学習	28	DL基礎 1 【講義】 ・ Neural Networkの基本的な考え方
24	学習精度の向上 1 【講義・ハンズオン】 ・ データ加工による新規変数の作成 ・ 次元削減	29	DL基礎 2 【講義】 ・ ネットワーク概要、構造 ・ DNN、CNN、RNN
25	学習精度の向上 2 【講義・ハンズオン】 ・ モデルの評価（評価関数：AUC、ROC、AR） ・ ハイパーパラメータチューニング	30	Appendix WebAPI化 【講義】 ・ bottleフレームワークを使ったWeb APIの作成

※内容は一部変更となる場合がございます。

2. 全体・講座別の理解度

以下、各講座実施後の結果となります。

1. 各講座の受講生“理解度”



講座	前回	今回
総合	平均得点 3.7 理解度 82%	平均得点 3.5 理解度 80.5%
①DS入門	平均得点 4.2 理解度 90%	平均得点 4.2 理解度 90.0%
②ビジネスインサイト基礎	平均得点 3.6 理解度 78%	平均得点 3.8 理解度 82.5%
③状況可視化基礎	平均得点 3.8 理解度 82%	平均得点 3.7 理解度 85.5%

各講座 (①~⑤) の理解度をアンケート調査を実施



4. 個人別評価+講師評価結果 “第2期生様のみ”

以下、個人別評価+講師評価を講座別の理解度でスコア付けを行い降順 (ランキング) したものとあります。

受講様の自己評価、講師評価をランキング

コメント

- ・全講座を通じて高い理解度となりました。
- ・<ご参考> 前回実施 (第1回) の結果対比もご確認いただけるようにし
- ・DB、DSは前回受講生様よりも理解度が高く出ています。
- ・ビジネスインサイト、状況可視化は実務経験がないため前回受講生様、

【理解度サマリ】

講座名称	講師評価の降順									
	A氏		B氏		C氏		D氏		E氏	
	入社7年目	入社5年目	入社5年目	入社5年目	入社4年目	入社3年目	入社4年目	入社3年目	入社3年目	
合計	20	18.0	21	17.5	19	17.4				
①DS入門編	5	3.5	5	3.5	4	3.5				
②ビジネスインサイト基礎	4	3.2	4	2.9	4	2.8				
③状況可視化基礎	4	3.4	4	3.1	4	3.4				
④DB基礎	4	4.0	4	3.9	3	4.1				
⑤DS (=統計・Python) 基礎	3	3.5	4	4.4	4	4.0				

【自己評価のスコア】
5: 良く理解出来た ~ 1: 殆ど理解出来なかった。①~⑤中の青字は講師評価が特に高い上位2名となります。

【講師評価のスコア】
演習結果とテスト結果、講師の感覚値 (演習 (課題) の提出スピード、成果物の内容、意欲) を考慮して、採点。
※但し、DS入門編は演習がないため、講師評価は一律にしてあります。

5. 個人別評価・アンケート結果 “B氏 (入社5年目)”

以下、梶原 凌様の各講座理解度の結果となります。

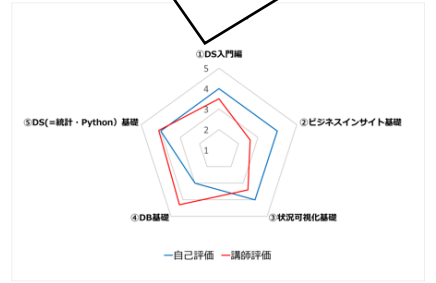
各スキルセット	自己評価	講師評価
DS入門	4	3.5
ビジネスインサイト	4	2.4
状況可視化	4	3.3
DB (=SQL Server)	3	3.9
データサイエンス (=統計・Python)	4	4.0

※DS入門は演習がないため、講師評価は一律にしてあります。

講師コメント

- ・画像認識が多く実験を通じてデータの取り扱いには慣れていると直ぐに分かった。今回のビジネスインサイトは未知の分野であるため講座の内容が多岐に渡り理解が追い付かない”と意見も出たが、将来データ分析プロジェクトに携わっていく際に”必要な知識は何か”を常に考えながら最後まで諦めずに学習していた。対人コミュニケーション力もあるためビジネスチームとも良い関係を築く事が出来ると感じた。これから様々なデータサイエンス案件に取り組みビジネスインパクトを数年後に出来ることを期待したい。
- ・研修の全体を通して、積極的に発言するなど受講生の中で最も意欲的に参加されていた印象を持った。可視化テクニックについてわかりやすく表現ができ、その結果の解説も適切にまとめられていた。さらに考察や検討することで改善点の提案などが出来ると、より説得力のあるレポートを作ることができると感じた。
- ・DB基礎、DS基礎ともに高い水準にある。DB基礎の方が評価は高い、講座当初から演習の提出は速くはないが、正確性が高く、こちらが意図した内容をしっかりと理解している様子が見えた。特にデータの考察は最も客観的に特徴を把握しており、深く考えていると感じる部分は多く、統計知識に関しては、概ね理解できていると感じた。後半、理解が追いつかないのが演習スコアも下がっていたが、全体的にみるととてもバランスが良い。今後経験を重ね成長していくことを期待。

受講生別に得意、不得意のコメント記載



※上記、得点は実際の数値とは異なります。



講座の特徴・強み

以下、弊社講座（テキスト、講師、運営）の特徴、強みとなります。

1. 現役データサイエンティストが講師を担当

- ・講師は7名おり、全員が現役のデータサイエンティストにて業種・業態を問わず案件経験を積んでいます。

2. スキルと経験が詰め込まれたコンテンツをご提供

- ・ビジネス（インサイト）、BI（状況可視化）、テキストマイニング、統計解析、機械学習、AI、実務へのDS活用を考えるなど非常に充実したコンテンツとなっています。

3. 様々な演習・ハンズオンをご準備

- ・理解を深めることを目的にできるだけ“能動的”に受講いただけるような構成にしております。

4. オンラインでの研修環境あり

- ・対面での講座に加えて、コロナ禍対応としてオンラインでの講座実施に対応しております。過去は有料でのパソコンの貸し出しでしたが、VM（仮想マシン）環境を新たにご準備しております。

5. 実務に活かした構成で講座後のフォローアップも充実

- ・実務にデータ利活用いただき成果を作り上げることを目的としております。メンター制度やデータの可視化、デジタル戦略策定から伴走できるメンバーが在籍しております。

助成金の概要

～人材開発支援助成金～

人材開発助成金とは、事業主が労働者に対して訓練を実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度。

令和4年～令和6年にかけて特別に「人への投資促進コース」が新設（3年限定の特別な助成金！）。

<人材開発助成金>

訓練コース名	対象者・対象訓練
人への投資促進コース【新規】	国民からのご提案を踏まえて5つの助成を新設
特定訓練コース	正規雇用労働者を対象とした生産性向上に資する訓練などへの経費助成等
一般訓練コース	正規雇用労働者を対象とした訓練に対する経費助成等
特別育成訓練コース	非正規雇用労働者を対象とした訓練に対する経費助成等
教育訓練休暇等付与コース	教育訓練休暇制度などを導入した事業主への制度導入助成等

※ 令和4年度から、すべての訓練コースにおいて、オンライン研修(eラーニング)による訓練を対象化



1. デジタル人材・高度人材の育成

高度デジタル人材訓練／成長分野等人材訓練

高度デジタル人材[※]の育成のための訓練や、海外を含む大学院での訓練を行う事業主に対する高率助成
※ ITSS（ITスキル標準）レベル4若しくは3となる訓練又は大学への入学（情報工学・情報科学）

情報技術分野認定実習併用職業訓練

IT分野未経験者の即戦力化のための訓練[※]を実施する事業主に対する助成
※ OFF-JTとOJTを組み合わせた訓練

2. 労働者の自発的な能力開発の促進

長期教育訓練休暇等制度

働きながら訓練を受講するための長期休暇制度や短時間勤務等制度（所定労働時間の短縮及び所定外労働時間の免除）を導入する事業主への助成の拡充（長期休暇制度の賃金助成の人数制限の撤廃等）

自発的職業能力開発訓練

労働者が自発的に受講した職業訓練費用を負担する事業主に対する助成

3. 柔軟な訓練形態の助成対象化

定額制訓練

労働者の多様な訓練の選択・実施を可能とする「定額制訓練」（サブスクリプション型の研修サービス）を利用する事業主に対する助成

当社のデータサイエンティスト養成講座は、経済産業大臣認定の第四次産業革命スキル認定講座！（ITSSレベル4以上）

（出典：厚生労働省人材開発助成金「人への投資促進コース創設」）

令和4年に創設された高度デジタル人材訓練の経費助成率が最大75%！さらに賃金助成もあり！



事業主の社員教育費用の自己負担が大幅に縮小！

訓練メニュー	対象者	対象訓練	経費助成率		賃金助成額		OJT実施助成額		備考
			中小企業	大企業	中小企業	大企業	中小企業	大企業	
高度デジタル人材訓練	正規	高度デジタル訓練(ITスキル標準(ITSS)レベル3,4以上)	75%	60%	960円	480円	-		資格試験(受験料)も助成対象
成長分野等人材訓練	非正規	海外も含む大学院での訓練	75%		国内大学院 960円		-		
情報技術分野認定実習併用職業訓練	正規	OFF-JT+OJTの組み合わせの訓練(IT分野関連の訓練)	60% (+15%)	45% (+15%)	760円 (+200円)	380円 (+100円)	20万円 (+5万円)	11万円 (+3万円)	訓練期間6ヶ月~2年(大臣認定必要) 資格試験(受験料)も助成対象
長期教育訓練休暇等制度	正規	長期教育訓練休暇制度(30日以上連続休暇取得)	制度導入経費20万円 (+4万円)		1日当たり 6,000円 (+1,200円)		-		・長期教育訓練休暇制度を導入済みの企業も賃金助成の対象 ・賃金助成の人数制限を撤廃
	非正規	所定労働時間の短縮及び所定外労働免除制度	制度導入経費20万円 (+4万円)		-		-		
自発的職業能力開発訓練	正規 非正規	労働者の自発的な職業訓練費用を事業主が負担した訓練	30% (+15%)		-		-		
定額制訓練	正規 非正規	「定額制訓練」(サブスクリプション型の研修サービス)	45% (+15%)	30% (+15%)	-		-		

※ () 内の助成率(額)は、生産性要件を満たした場合の率(額)。

※ 現行コース「教育訓練休暇等付与コース」のうち「長期教育訓練休暇制度」及び「教育訓練短時間勤務制度」は、令和4年度から令和6年度までの間は適用しない。

※ 人への投資促進コースの修了後に正社員化した場合は、キャリアアップ助成金(正社員化コース)の加算対象(情報技術分野認定実習併用職業訓練は除く。)

(出典：厚生労働省人材開発助成金「人への投資促進コース創設」)

高度なデジタル分野の訓練を行った場合

他のコースより高い
助成率・助成額で支援します！

課題

高度なデジタル分野の資格を取ってもらい、
核となる人材として働いてほしい！



訓練

- 訓練コース
プロジェクトマネージャ試験対策講座（1名）
- 訓練内容
プロジェクトマネージャ試験対策のための訓練。
訓練時間：30時間 訓練経費：20万円
- ITSSレベル4に相当する資格試験の受験
訓練経費：8万円

助成内容（中小企業の場合）・成果

- 助成率・額
経費助成：75%
賃金助成：1時間あたり960円
- 助成額（左記の訓練内容の場合の例）
経費助成：210,000円（資格試験料を含む）
賃金助成：28,800円
- 成果
資格を取得して専門的な知識を身につけることで、
管理職として活躍してもらうことができた。
高度な資格を保持していることが会社のアピール
ポイントにもなっている。



助成金を活用

出典：厚生労働省：人材開発支援助成金

<1事業所が1年度に受給できる助成金の限度額>

訓練コース・メニュー	1事業所1年度当たりの限度額
人への投資促進コース (成長分野等人材訓練除く)	1500万円 ※自発的職業能力開発訓練200万円
成長分野等人材訓練	1000万円
特定訓練／一般訓練コース	1000万円 ※一般訓練コースのみ利用する場合は、500万円
特別育成訓練コース	1000万円
教育訓練休暇等付与コース	制度導入30万円

<受講者1人当たりの助成金の限度額>

訓練コース・メニュー	実訓練時間数 100H未満	実訓練時間数 100~200H 未満	実訓練時間数 200H以上	大学 (一年度当たり)	大学院 (一年度当たり)
高度デジタル人材訓練	30(20) 万円	40(25) 万円	50(30) 万円	150(100) 万円	-
成長分野等人材訓練	-	-	-	-	国内150万円 <海外500万円>
情報技術分野認定実習併 用職業訓練	15(10) 万円	30(20) 万円	50(30) 万円	-	-
自発的職業能力開発訓練	7万円	15万円	20万円	60万円	国内60万円 <海外200万円>
特定訓練コース	15(10) 万円	30(20) 万円	50(30) 万円	-	-
特別育成訓練コース	15(10) 万円	30(20) 万円	50(30) 万円	-	-
一般訓練コース	7万円	15万円	20万円	-	-

※ 1年度とは、支給申請日を基準とし、4月1日から翌年3月31日までのことをいいます。

※ 生産性要件達成による差額分の追加申請も含めて、各限度額を適用します。

※ 自発的職業能力開発訓練は、人への投資促進コース全体で1500万円に達していない場合であっても、200万円が限度となります。

※ 大学・大学院での訓練は、一年度あたりの限度額です。それ以外の民間の教育訓練機関等により実施される訓練については、一の年間職業能力開発計画（様式第3-1号）当たりの限度額となります。

※ eラーニング・通信制により実施される訓練の場合は、実訓練時間数を標準学習時間で判断します。標準学習期間しかわからない訓練については、100H未満の限度額が適用されます（「高度デジタル人材訓練」「成長分野等人材訓練」「自発的職業能力開発訓練」として、大学および大学院で通信制の訓練を実施する場合を除く）。

※ 人への投資促進コースのうち、「定額制訓練」に対する助成は、受講者1人当たりの経費助成の限度額は設定していません。

※ () 内は大企業の限度額

(出典：総務省「人への投資促進コース創設」詳細)

訓練メニュー	賃金助成の対象	賃金助成額 ^{※1}	限度日数/時間
高度デジタル人材訓練	対象 ^{※2}	中小企業 960円 大企業 480円	原則1200時間 大学院、大学、専門実践教育訓練は 1600時間
成長分野等人材訓練		960円	
情報技術分野認定実習併用職業訓練	対象	中小企業 760円(+200円) ^{※3} 大企業 380円(+100円) ^{※3}	1200時間
定額制訓練	対象外	-	-
自発的職業能力開発訓練	対象外	-	-
長期教育訓練休暇等制度	有給の長期休暇のみ対象	1日6000円 (+1200円) ^{※3}	最大150日

訓練メニュー	支給回数の制限
高度デジタル人材訓練	1人1年 ^{※1} 3回まで
成長分野等人材訓練	
情報技術分野認定実習併用職業訓練	1人1年 ^{※1} 1回まで
定額制訓練	- ^{※2}
自発的職業能力開発訓練	1人1年 ^{※1} 3回まで
長期教育訓練休暇等制度	・制度導入助成(1事業主1回まで) ・賃金助成(1人150日まで)

出典：厚生労働省：人材開発支援助成金



会社概要

社名	ワークスアイディ株式会社
URL	https://www.worksid.co.jp
所在地	東京本社： 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー23F 電話:03-6418-0800 FAX
設立	1999年7月19日
資本金 (資本準備金含む)	18,426万円
主要株主	キューアンドエー株式会社、池邊 竜一
決算月	3月
許可番号	プライバシーマーク 第10861199 労働者派遣事業（許可番号 派13-070313） 有料職業紹介業（許可番号 13-ユ-070328） 優良派遣事業者（許可番号 2011015（03））
取引銀行	みずほ銀行 渋谷支店 りそな銀行 赤坂支店 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店

役員	代表取締役社長 池邊 竜一 専務取締役 板倉 芳之 取締役 坂原 浩司 取締役 佐藤 守信 取締役 伊藤 大輔 常勤監査役 西田 純隆 監査役 須崎 利泰 監査役 山口 祥平 上席執行役員 松本 竜也 上席執行役員 倉岡 伸輔 執行役員 奥西 佑太
従業員数	1199名（2022年1月現在）
事業内容	RPA導入支援「RoboRoid」 可視化コンサルティング「RoboRoid-HIT.s」 ネットワーク・インフラ構築・システム開発・SES ビジネスインテリジェンス「データ・インテリジェンス」 IA（インテリジェントオートメーション） データサイエンス(統計解析) BPaaS・BPO（インソーシング・アウトソーシング） 人材派遣事業（一般派遣・紹介予定派遣） 人材紹介事業 採用支援（適正診断テスト「FORTUNA」）



関西支社

〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田2-4-9 プリーゼタワー25F
電話:06-6342-9080 FAX:06-6342-9071



広島支店

〒730-0051
広島県広島市中区大手町2-2-9 ビル博丈大手町5F
電話:082-567-5808 FAX:082-567-5799



福岡支店

〒812-0016
福岡県福岡市博多区博多駅南1-10-4
第二博多偕成ビル7階
電話:092-707-1622



名古屋支店

〒460-0008
名古屋市中区栄三丁目15-27 いちご栄ビル9F
電話:052-687-8787



札幌支店

〒060-0002
北海道札幌市中央区北2条西3丁目1
太陽生命札幌ビル6F
電話:011-211-6740 FAX:011-211-6741



仙台支店

〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町1-8-3 富士火災仙台ビル9F
電話:022-217-0290 FAX:022-217-0291



東京本社

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷2-15-1
渋谷クロスタワー23F
電話:03-6418-0800 FAX:03-6418-0810



東京第2オフィス/ID STUDIO TOKYO

〒170-0013
東京都豊島区東池袋1-27-12
明治安田生命池袋ビル6F
電話:03-5928-0705 FAX:03-5928-0708

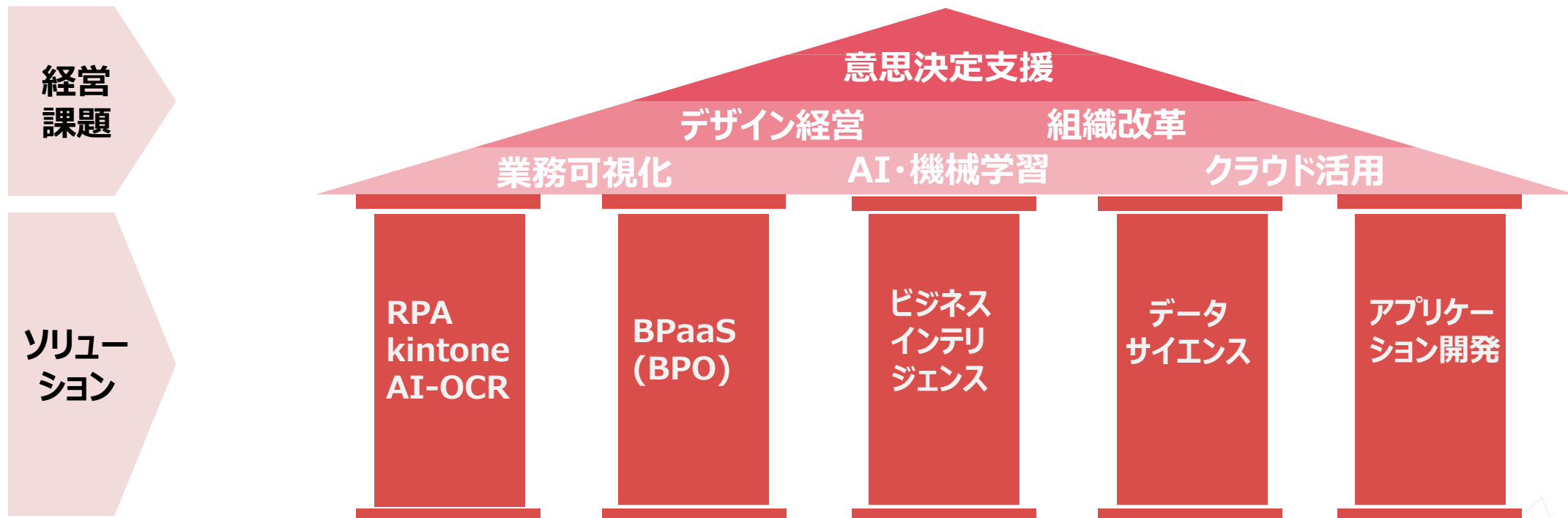


当社のミッション

For Ideal Design 『働くをデザインする』

私たちワークスアイディは

データサイエンス、ビジネスインテリジェンス、RPA、アプリケーション開発などのさまざまなデジタル技術を活用して生産性を向上させ、お客様のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進をご支援致します。



DXセグメント



RPA・BPO

RPA導入コンサルティング
 RPA導入支援サービス
 “Roboroid”展開
 RPAツール
 基礎・応用研修・開発支援
 RPAツールのリモート
 オンサイトサポート
 RPAハイブリッド派遣

業務可視化・BPaaS

業務手順のマニュアル化
 業務手順のルール化
 Hit’sツールを使用した可視化
 As-Isチャート作成支援
 To-Beチャート作成支援
 内製化支援
 業務の標準化・効率化
 自動化ツール選定(RPA,シス
 テム)BPaaS導入～運用保守

IT・データサイエンス

WorksID正社員派遣する
 [SES]
 ※クライアント常駐勤務
 データサイエンス養成講座
 独自教育コンテンツ
 統計解析支援サービス
 デザインBIサービス
 サーバー/NW/DB/システム
 運用実績豊富
 テクニカル系B2Bオンサイト
 サポート実績多数 …etc

ITテクニカルサポート

ヘルプデスク・テクニカルサポー
 トの実績多数
 テクニカル未経験者向け
 独自教育コンテンツ
 全国主要都市に
 テクニカル研修施設完備
 エンジニアへのキャリアパスを
 フォロー
 積極的な地方拠点への拡大

PEO

専任コーディネーターによるヒ
 アリングの徹底、熟練労働
 者とのマッチング
 DX人材向け就業訓練
 メンタルヘルスケアテックによる
 細やかなフォロー体制
 PMOから専門性の高い
 DX職種まで、幅広く対応
 独自の適正診断ツール
 「FORTUNA」を実施

RPA Solution

WorksIDが提供する業務調査から分析、トレーニング、ロボット開発、サポート、運用までワンストップで実施するRPA導入支援サービスです。

DX Consulting Service

DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するお客様の「課題解決」とその先にある「データ利活用」による「ビジネス変革」をご支援します。



Work Style Solution

BPaaSをはじめとし、デジタル経営資源の活用や業務改善プラットフォームの活用等で働き方と働く人の「変化と体験」を実現するサービスです。

IT Solution

開発・インフラ・ネットワーク・クラウドのすべてに精通する「フルスタックエンジニア」を育成、お客様ごとに個別最適化した付加価値の高いITプロジェクトを支援します。

Data Solution

状況可視化(BI)、統計解析・機械学習(BA)、人工知能(AI)を駆使してお客様の課題解決と本来やりたいことの実現に向けたサービスです。

「働く」をデザインする

テクノロジーを活用した新しい価値の創造＝「DX」と、
「人」の持つ無限の想像力を掛け合わせて人とテクノロジーが協働する未来を共創することで
「人」の「働く」喜びに、「企業」のテクノロジーを活用した「ビジネスの変革」に、貢献していきます。

会社案内ダウンロード



ワークスアイディ株式会社
DX Solutionサイト <https://dx.worksid.co.jp/>





Works ID

人とテクノロジーのチカラで「働く」をデザインする。